

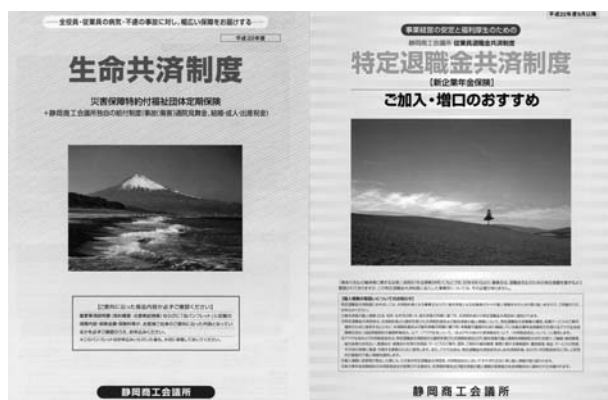
3. 商工会議所の財政基盤の確立と機能強化

商工会議所の組織基盤である



2010年11月26日、「静岡市のまちづくりに関する要望書」を提出

成果を挙げることができました。その他、効率的な静岡市行政および静岡市議会運営を図る為に、適正な議員定数や経費の節減についての見直しを図る要望や、静岡地区の青葉小学校跡地への歴史博物館の整備や江川町交差点のスクランブル化、七間町活性化構想への支援といった静岡市のまちづくりに関する要望を行うなど、積極的な政策提言活動に努めました。



2010年9月1日、生命共済・特定退職金共済をリニューアル

会員の拡充を目的に、新規会員獲得と退会防止を図るため、当会議所内に「会員サービス委員会」を設置し、会員増強計画に基づき会員増強運動に取り組みました。その結果、年度当初に比べ238件増加し1万1,718会員となりました。また、収益事業の一つである共済事業では、合併に伴い平成22年9月から制度を統合し、加入者数は生命共済制度1,173事業所4,221名、特定退職金共済制度1,434事業所8,602名となり、その加入促進に努めました。

静岡商工会議所 平成22年度収支決算

一般会計

◆収入の部 (単位：千円)		◆支出の部 (単位：千円)	
科目	決算額	科目	決算額
1. 会費	169,842	1. 事業費	264,443
2. 事業収入	254,107	1) 一般事業費	212,498
3. 交付金	93,684	2) 委託事業費	51,945
4. 雑収入	16,165	2. 管理費	297,536
5. 積立金取崩	244,054	3. 繰出金	216,410
6. 繰越金	90,221	支出計	778,391
合計	868,075	収支剰余金	89,684
		合計	868,075

< 決算規模 >

● 一般会計	868,075千円
● 法定台帳関係費特別会計	17,490千円
● 小規模事業経営支援事業費特別会計	228,671千円
● 会館運営特別会計	263,830千円
● 特定退職金共済制度特別会計	1,858,220千円
● 静岡県中小企業再生支援協議会事業	120,554千円
● 静岡市清水産業・情報プラザ指定管理事業	94,198千円
● 退職給与資金特別会計	308,956千円
● 労働保険料特別会計	297,530千円
平成22年度収支決算合計	4,057,528千円

一方、機能強化面では中長期的視点に立った事業活動を実践するため、新たに「会員・地域から頼りにされる商工会議所」を目指した

3カ年の中期行動計画を策定したほか、全事務事業の見直し作業を実施し、業務の合理化・効率化に努めました。